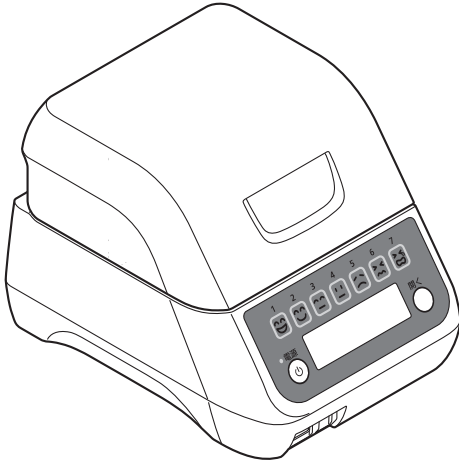


## 取扱説明書

### 口腔内細菌カウンタ

品番 NP-BCM01-A



安全上の注意

準備

使いかた

その他

販売名：口腔内細菌カウンタ NP-BCM01-A  
一般医療機器 微生物定量分析装置  
特定保守管理医療機器  
届出番号：13B2X10654000003

#### 保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 添付文書（電子添文\*）と取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（P. 4～P. 7）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

\*この製品に添付文書（電子添文）は同梱していないため、下記の方法により閲覧いただくか、販売店へお問い合わせください。

1. PMDA ホームページを利用  
一般的な名称「微生物定量分析装置」または販売名「口腔内細菌カウンタ NP-BCM01-A」で電子添文を検索して確認する。
2. 添付文書閲覧アプリ（添文ナビ）を利用  
添文ナビを使用し、下記または梱包箱に表示の GS 1 バーコードを読み取ることにより電子添文を確認する。

GS1バーコード（GS1-128）



(01)04549980348567

# はじめに

この製品は、診療を目的として口腔から採取した試料中の微生物を電気インピーダンスにより定量することができる機器です。

本機は、パナソニック独自方式の細菌検出技術「DEPIM(\* 1)」により約 1 分(\* 2)で培養法と高い相関のある総菌数測定結果が得られます。

(\* 1) DEPIM (デピム)

DEPIM = DiElectroPhoretic Impedance Measurement

誘電泳動力で水中の細菌を濃縮し、水中の細菌を電氣的に検出する方法  
(特許第 3669182 号)

(\* 2) 測定環境で異なります。約 1 分/回～最大 1 分 30 秒程度/回

## お願い.....

- お客様へ
- 本機は医療機器であり、使用者は操作を熟知する必要があります。  
取扱説明書の各項目についてしっかりご確認をお願いいたします。
  - 本機を人の口腔内の総菌数を測定する以外の目的で使用しないでください。
  - 口腔内の細菌数を測定するためには、2通りの検体採取方法があります。(P.20)  
同じ被験者から検体を採取しても、細菌数は採取する方法や部位によって異なるため、診療目的に応じて検体採取方法を選択し、採取条件を統一してください。

# もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください（→ P. 4 ~ P. 7）

	はじめに .....	2
<b>安全上のご注意</b>	<b>安全上のご注意（必ずお守りください） .....</b>	<b>4</b>
<b>準備</b>	ご使用の前に .....	8
	付属品 .....	10
	別売品 .....	11
	推奨品 .....	11
	各部のなまえとはたらき .....	12
	日付・時刻を設定する .....	14
<b>使いかた</b>	測定する .....	16
	測定結果を確認する .....	25
	測定を終了する .....	27
	測定履歴を表示する .....	29
	ID・性別・年齢を入力する .....	31
<b>その他</b>	お手入れ .....	34
	定圧検体採取器具の保守・点検 .....	35
	故障かな!?!とと思ったら .....	36
	こんな表示が出たときは .....	37
	仕様 .....	39
	保証とアフターサービス（よくお読みください） .....	40
	EMC（電磁両立性）について .....	41
	製品表示記号 .....	46

安全上のご注意

準備

使いかた

その他

## お知らせ



口腔内細菌カウンタユーティリティソフトは、口腔内細菌カウンタ本体の測定データをパソコンで取得するためのソフトウェアです。本製品には、ユーティリティソフトは付属されておりません。パナソニックのホームページよりダウンロードすることができます。  
<https://dental-washer.jp.eww.panasonic.com/bacterial-counter/feature.html>

# 安全上のご注意




必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 <b>警告</b>	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 <b>注意</b>	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

## 警告



### 機器本体の電源接続は付属の電源コード / AC アダプターを使用する

- 付属の電源コード / AC アダプター以外を使用すると、発熱による火災の原因になります。



### コンセントや配線器具の定格を超える使用や、交流 100 V 以外での使用はしない

- たこ足配線等の使用で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



### 分解、改造をしない

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。



### 電源プラグのほこり等は定期的に取り除く

- 電源プラグにほこり等が付着した状態で使用すると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいて取り除いてください。



### 電源コード / AC アダプターを破損するようなことはしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っばる、重い物を載せる、束ねる 等)

- 傷んだ電源コード / AC アダプターを使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- 電源コード / AC アダプターの修理は、販売店へご相談ください。
- 電源コード / AC アダプターを改造しないでください。



### 電源コード / AC アダプターは狭い場所で使用しない

- 熱がこもり発煙、発火の原因になります。



### 付属の電源コード / AC アダプターは、本機以外の機器では使用しない

- 付属の電源コード / AC アダプターを本機以外の機器で使用すると、発熱による火災の原因になります。

**電源プラグや電源コードは、根元まで確実に差し込む**

- 電源プラグの差し込みが不完全な状態で使用すると、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

**ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない**

- 感電の原因になります。

**熱源の近くで使用しない**

- 火災などの原因になります。

**雷が鳴り出したら、電源コード / AC アダプターや機器本体の金属部に触れない**

- 落雷すると、感電の原因になります。

**機器本体や電源コード / AC アダプターに水をかけたり、ぬらしたりしない**

- 感電や発熱による火災の原因になります。
- 水が入った際は、使用せず販売店へご相談ください。

**ぐらついた台の上や傾いたところ等、不安定なところに置かない**

- 落下すると、けがの原因になります。

**内部に水や異物等が入ったり外装ケースが破損した際は、使用するのをやめて電源プラグを抜く**

- 火災・感電の原因になります。ただちに販売店へご相談ください。

**検体採取時やその後の扱いは滅菌手袋を使用し、感染などの衛生面に注意する**

- 不衛生な手で採取を行ったり、手や定圧検体採取器具を粘膜や歯などに接触させたりすると、感染などの原因になります。

**幼児の手の届くところに置かない**

- センサーチップやディスプレイカップのアルミはくなどを飲み込むと、死亡や重傷の原因になります。
- 特にお子さまが飲み込まないようにご注意ください。
- 万一飲み込んだ場合は、ただちに医療機関にご相談ください。

**次のような場所で使用したり、放置しない**

- 火元の近く
- 温度が高くなる場所（特に真夏の車内やトランク等）
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 重い物の下
- 足元等、誤って踏んでしまうようなところ
- 振動の激しいところ
- やけど・火災・感電の原因になります。

**電源コードのコード部を持って抜かない**

- 電源コード破損の原因になり、感電や発熱による火災のおそれがありますので、必ず電源プラグを持って抜いてください。

**使用後は、電源プラグをコンセントから抜く**

- 長期間、電源プラグをコンセントに差し込んだままにすると、発火による火災のおそれがあります。

**煙が出ている、異常に熱い、異臭がする、異音がする等の異常を感じた際は、使用するのをやめて電源プラグを抜く**

- 火災・感電の原因になります。ただちに販売店へご相談ください。

## 注意



**病院内や施設内では、病院や施設の指示に従う**

- 機器本体からの電磁波等が、計器類に影響を及ぼすことがあります。



**電波塔や高圧線が近くにある場所では使用しない**

- 正しく測定結果が得られない場合があります。



**磁気や電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビやゲーム機等）からできるだけ離れて使用する**

- 記録が損なわれたり、正しい測定結果が得られない場合があります。  
機器本体が磁気や電磁波の影響を受けて正常に動作しないときは、電源を切り電源プラグを抜いて改めてコンセントに接続して、電源を入れ直してください。



**お手入れするときは電源プラグを抜く**

- 感電につながるおそれがあります。



**機器本体を移動させる際は、ふたを持たない**

- ふたに無理な力が加わるとふたが破損して落下し、けがの原因になります。



**機器本体のふたを開けるときは、顔を近づけない**

- けがの原因になります。



**機器本体のふたを閉めるときは、指や異物などを挟まないように注意する**

- けがの原因になります。



**検体採取時は必要以上の力を加えない**

- 口腔内を傷つける原因になります。



**検体採取時は定圧検体採取器具の可動範囲を超えて使用しない**

- 口腔内を傷つける原因になります。



**トレーニングを受けたスタッフ以外には使わせない**

- けがなどの原因になります。



**機器は取扱説明書に記載の使いかたで正しく使用する**

- 正しい測定結果が得られない場合があります。



**検体採取後、できるだけ速やかに測定する**

- 正しく測定結果が得られない場合があります。



**使用条件を守って使用する**

- 正しく測定結果が得られない場合があります。



**機器本体を振動の少ない水平な台の上に設置して測定する**

- 正しく測定結果が得られない場合があります。

**測定中は、機器本体を移動させたり機器本体に触れたりしない**

- 振動等の影響で、ディスポーザブルカップ内の測定溶液がこぼれ誤動作や故障により正しい測定結果が得られない場合があります。

**センサーチップは、落としたり、曲げたり、汚したり、傷をつけたりしない**

- 破損・変形したセンサーチップを使用すると誤動作や故障により、正しい測定結果が得られない場合があります。
- 端子部に体液や菌などが付着すると、正しい測定結果が得られない場合があります。

**センサーチップ・ディスポーザブルカップ・滅菌綿棒は、必ず専用の測定消耗品を使用する (P. 11)**

- 誤動作や故障により、正しく測定結果が得られない場合があります。

**センサーチップ・ディスポーザブルカップ・滅菌綿棒は使用することに交換する**

- 繰り返し使用すると、正しい測定結果が得られない場合があります。未使用のセンサーチップ・ディスポーザブルカップ・滅菌綿棒は使用済みと混同しないよう保管してください。

**センサーチップ・ディスポーザブルカップ・滅菌綿棒は使用期限を守って使用する**

- 正しく測定結果が得られない場合があります。使用期限については P. 35 をご覧ください。

**機器本体にセットされたディスポーザブルカップに滅菌綿棒を入れた状態では、必要とき以外に顔や手を近づけない**

- 滅菌綿棒の先端で顔や手を突いてけがをするおそれがあります。

**低温、高温の場所から測定場所に移動させた場合、機器本体や測定消耗品を約 1 時間その状態で、移動先の室温になじませてから使用する**

- 温度の変化で正しい測定結果が得られない場合があります。
- 夏季、冬季には、エアコンの冷風、温風が直接機器本体や測定消耗品にあたることのないように注意してください。

# ご使用前に

## 機器本体について

機器本体を持ち運ぶときは、落としたり、ぶつけたりしないでください。

- 強い衝撃が加わると、外装ケースが破損して故障の原因になります。

機器本体の端子部に触らないでください。また、外装ケースのすき間や穴から液体や砂、異物等が入らないようにお気をつけください。

機器本体にディスポーザブルカップがセットされている際は、機器本体を移動させないでください。

- 機器本体が傾き、ディスポーザブルカップ内の測定溶液がこぼれて誤動作や故障の原因になります。

周囲で薬品や殺虫剤や揮発性のものを使用する際は、機器本体にかけないでください。

- 機器本体にかかると、外装ケースが変質したり変色するおそれがあります。
- ゴム製品やビニール製品等を長期間接触させたままにすると、外装ケースが変質したり変色するおそれがあります。

## 液晶画面について

温度差や湿度差があると、結露します。

- 液晶画面の汚れ・カビ・故障の原因になりますのでお気をつけください。

結露した場合は電源を切り、2時間ほどそのままにしてください。

- 周囲の温度になじむと、くもりが自然に取れます。

寒冷地等で機器本体が冷えきっている状態で使用すると、電源を入れた直後は液晶画面が通常より少し暗くなりますが、内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

## センサーチップ・ディスポーザブルカップ・滅菌綿棒について

ディスポーザブルカップは、直射日光に長時間さらさないでください。

- 液が漏れる原因になります。ディスポーザブルカップの保管・輸送条件については、P. 35をご覧ください。

折れた滅菌綿棒は使用しないでください。

- 誤動作や故障の原因になります。

変形、変色したセンサーチップ・ディスポーザブルカップは使用しないでください。

- 誤動作や故障の原因になります。センサーチップ・ディスポーザブルカップの保管・輸送条件については P. 35 をご覧ください。

複数人を同時に測定する場合など、測定結果を取り違えたりしないように、しっかりと管理してください。

---

ディスプレイカップを使用する際のアルミはくは、各地方自治体や施設の廃棄区分に従って廃棄してください。

---

測定後、使用済みセンサーチップ・ディスプレイカップ・ディスプレイカップ内の測定溶液・滅菌綿棒は、各地方自治体や施設の廃棄区分に従って処理してください。

## 測定値について

測定結果は培養法との相関はありますが、絶対値ではありません。

## 測定データについて

不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## AC アダプターについて

ラジオ（特に AM 受信中）の近くで使用すると、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は 1 m 以上離してください。

接続した状態にしておくと、最大約 0.3 W の電力を消費しています。使用中、AC アダプターの内部で発振音がある場合がありますが、異常ではありません。

## 定圧検体採取器具について

器具本体の分解や改造はしないでください。

- 破損や故障の原因になります。

器具本体を落としたり、アーム部（P. 20）に無理な力を加えないでください。

- 破損や故障の原因になります。

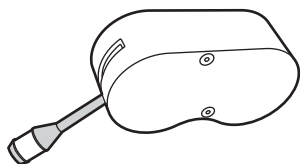
外装ケースの隙間や穴から異物等が入らないようにお気をつけください。

- 破損や故障の原因になります。

# 付属品

## ■定圧検体採取器具…1

品番：N-DP02



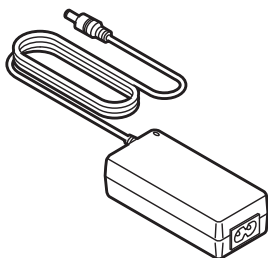
- 別売でもお買い求めいただけます。

### お知らせ

- 定圧検体採取器具は、滅菌綿棒の綿球部で  $20\text{ g} \pm 5\text{ g}$  の一定の荷重をかけて検体を採取することができます。  
検体採取時の押し圧（舌上に滅菌綿棒の綿球部が当たる圧力）のバラツキを抑制し、標準化を行うことができます。

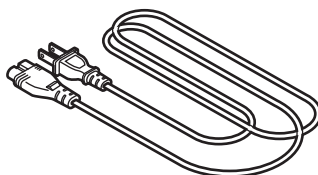
## ■ACアダプター（電源コードも含む）…1

品番：N-DP03



AC アダプター  
※ DC コード長さ 1.5 m

- 別売でもお買い求めいただけます。



電源コード  
※長さ 1.8 m

- イラストは説明イメージのため実際とは異なります。

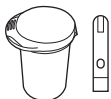
## 別売品

下記は、口腔内細菌カウンタ専用の測定消耗品です。(100回測定分)

- 測定消耗品は使用期限を守ってお使いください。使用期限については P. 35 をご覧ください。
  - 誤動作や故障の原因になります。
  - 仕様 (P. 39) に記載の測定精度が得られません。
- お買い求めについては、販売店にお問い合わせください。

### 品番：N-DP05

- センサーチップ…100 個  
(センサーチップボトル…2 個、  
各 50 個入り)



- ディスポーザブルカップ…100 個  
(純水 5 mL 入り)



- 滅菌綿棒…105 本  
(5 本は押し圧確認用)



販売名：医科用綿棒 N-DP05  
一般医療機器：医科用捲綿子  
届出番号：13B2X10654000004  
製造販売業者：パナソニック株式会社

準備

## 推奨品

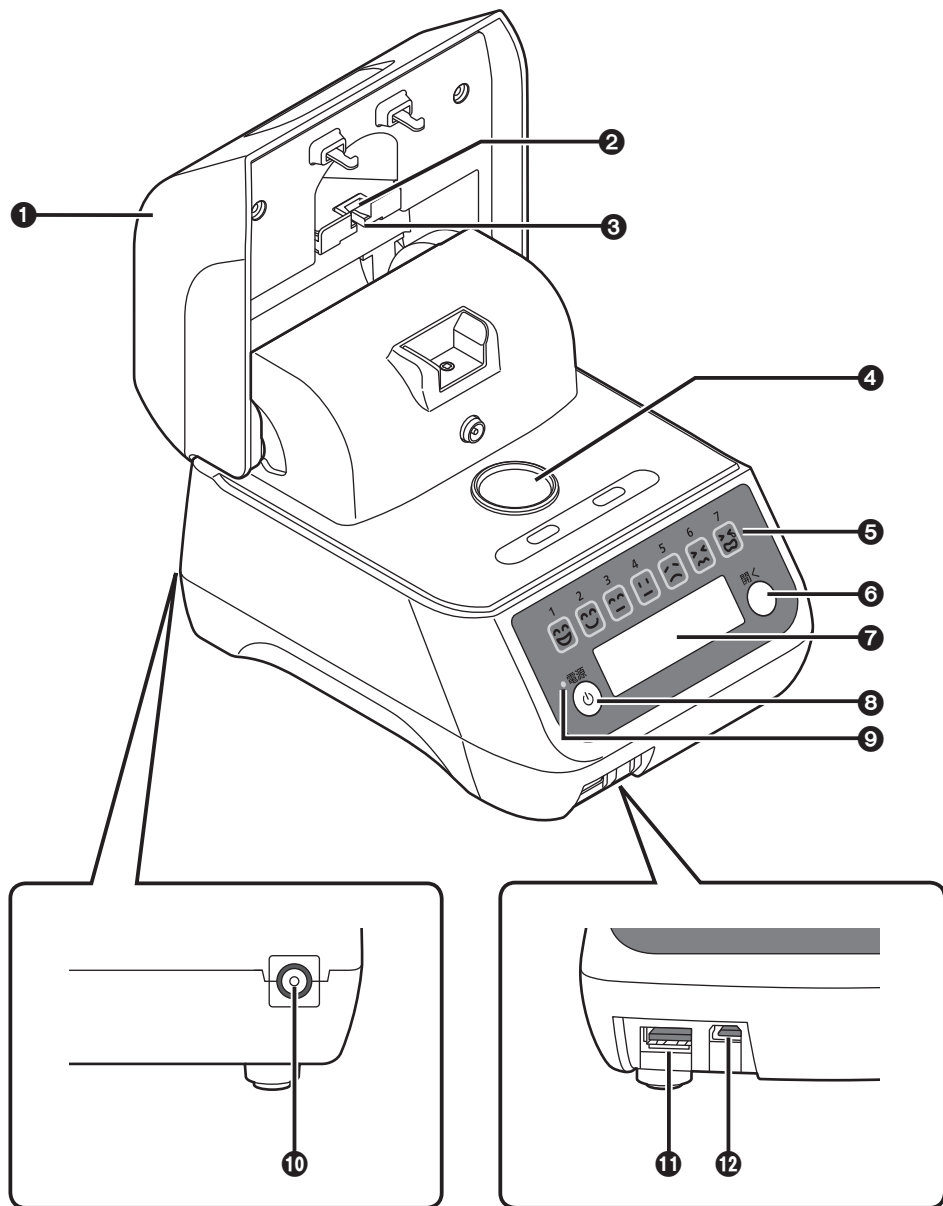
### ■ テンキー (市販品)

品名：USBテンキー (品番：TK-TCM011BK エレコム株式会社製)

動作確認済み (2021 年 1 月現在)

- 当社にて上記機器との動作確認をしておりますが、すべての動作保証をするものではありませんので、ご了承ください。
- その他のテンキーについては、販売店にお問い合わせください。

# 各部のなまえとはたらき



● イラストは説明イメージのため実際とは異なります。

## ① ふた

測定時にはふたを閉めます。

## ② センサーチップ挿入口

センサーチップを挿入します。

## ③ センサーチップ挿入ガイド

センサーチップをセンサーチップ挿入ガイドに沿って挿入します。

## ④ ディスポーザブルカップ取付部

## ⑤ フェイスマーク表示部

測定結果のレベルに応じて点灯します。

## ⑥ 「開く」ボタン

ふたが開きます。

電源が切れている状態で、「開く」ボタンと「電源」ボタンを同時に3秒以上押すと、日付時刻設定モードに切り替わります。

## ⑦ 液晶画面

被測定者の情報、測定状態、測定結果、エラー情報などを確認できます。

## ⑧ 「電源」ボタン

電源を入れます。

3秒以上押すと電源が切れます。

電源が切れている状態で3秒以上押すと、測定履歴が表示されます。

電源が切れている状態で、「電源」ボタンと「開く」ボタンを同時に3秒以上押すと、日付時刻設定モードに切り替わります。

## ⑨ 電源ランプ

電源が入るとランプが点灯します。

## ⑩ DC入力端子

ACアダプターを接続します。

## ⑪ テンキー接続用 USB 端子

テンキー（市販品）を接続します。

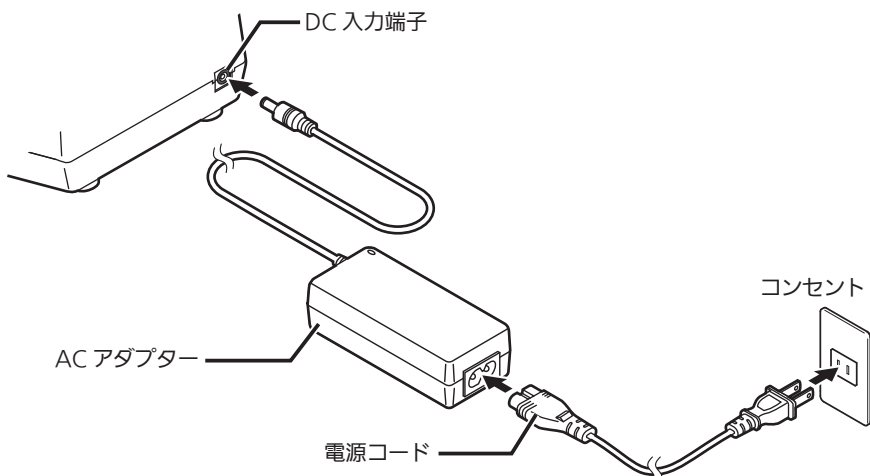
## ⑫ パソコン接続用 USB 端子

測定データをパソコンに転送するための端子です。

- 測定データはユーティリティソフトを用います。（P. 3）

### ■電源の接続方法

ACアダプターを機器本体背面のDC入力端子に差し込み、電源コードをACアダプターとコンセントに差し込みます。

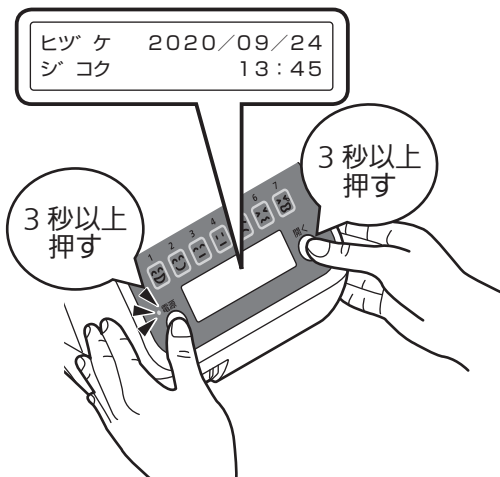


# 日付・時刻を設定する

## 1 日付時刻設定モードにする

1. 電源が切れている状態で、機器本体の「電源」ボタンと「開く」ボタンを同時に 3 秒以上押す。

電源が入り、日付時刻設定モードになります。



### お知らせ

時計は周囲温度が 25 °C の状態で月差 1 分程度です。

時計を駆動する電池（本体内部）が放電した場合、時計がリセットされ、下記のように表示されます。

ヒツケ	2000/01/01
ジコク	00:00

このような場合、AC アダプターを接続し、電源を連続して約 80 時間供給することでフル充電されます。（フル充電後は、約 2 年間動作します。）

## 2 日付・時刻を設定する

### 1. 機器本体の「電源」ボタンを押す。

年の欄にカーソルが表示されます。

### 2. 機器本体の「開く」ボタンを押して年を選択し、機器本体の「電源」ボタンを押して確定する。

#### お知らせ

機器本体の「開く」ボタンを押し続けると、数字が速く変化します。

テンキー（市販品）を接続している場合は、テンキーの「0」～「9」キーで数字を入力し、テンキーの「Enter」キーで次の項目に移ることができます。  
テンキーの接続方法については P. 31 をご覧ください。

### 3. 月・日・時・分も同様に設定する。

日付・時刻の設定が完了し、時計が作動します。

#### お知らせ

日付・時刻の設定を途中で中止したい場合は、設定中に機器本体の「電源」ボタンを 10 秒以上押します。設定中の内容を反映せずに電源が切れます。

時刻は 24 時間表示です。

## 3 設定を終了する

### 1. 機器本体の「開く」ボタンを押す。

「Welcome!」と表示されて日付時刻設定モードが終了します。

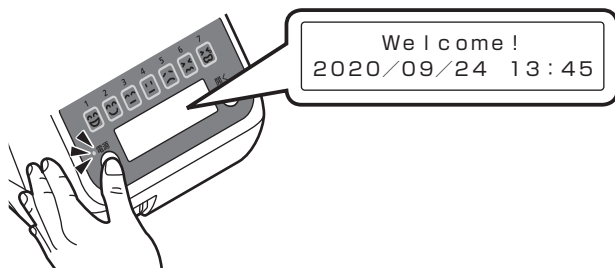
# 測定する

- 測定データの最大保存件数は 5000 件です。(P. 29)
- 5000 件を超えた場合は古いデータから消去されますので、ユーティリティソフトでパソコンにデータを取り込んでください。(P. 3)

## 1 電源を入れる

### 1. 機器を支えながら機器本体の「電源」ボタンを押す。

電源ランプが点灯し、液晶画面に「Welcome!」と表示されます。



## 2 ID・性別・年齢を入力する

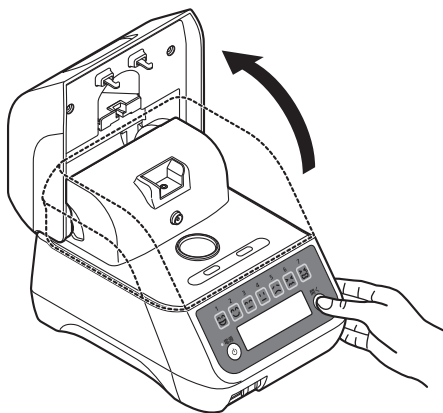
テンキー（市販品）を接続すると、ID・性別・年齢を入力できます。

ID・性別・年齢の入力方法については P. 31 をご覧ください。

- ID・性別・年齢を入力しない場合は次の手順に進んでください。

## 3 ふたを開ける

### 1. 機器を支えながら機器本体の「開く」ボタンを押す。



## 4 センサーチップを挿入する

### 警告



検体採取やその後の扱いは滅菌手袋を使用し、感染などの衛生面に注意する

- 不衛生な手で採取を行ったり、手や定圧検体採取器具を粘膜や歯などに接触させたりすると、感染などの原因になります。

### 1. センサーチップをセンサーチップボトルから取り出す。



### 注意



センサーチップは、落としたり、曲げたり、汚したり、傷をつけたりしない

- 破損・変形したセンサーチップを使用すると誤動作や故障により、正しい測定結果が得られない場合があります。
- 端子部に体液や菌などが付着すると、正しい測定結果が得られない場合があります。

端子部



#### お願い

一度測定完了したセンサーチップは再使用しないでください。

### 2. センサーチップの方向を確認して、機器本体のセンサーチップ挿入ガイドに沿ってセンサーチップ挿入口へ挿入する。

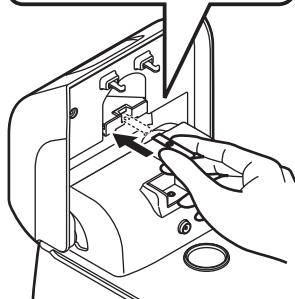
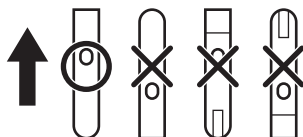
センサーチップ挿入口側



手前側

#### お願い

全体が白い面を上にして、端がまっすぐなほうをセンサーチップ挿入口へ向けてください。



### 注意



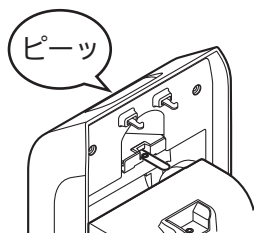
センサーチップの端子（銀色）部には触れないように注意する

- 端子部に触れた状態でセンサーチップを挿入すると、誤動作や故障により正しい測定結果が得られない原因になります。

## 測定する (つづき)

### 4 センサーチップを挿入する (つづき)

3. 「ピーッ」と音が鳴ることを確認する。



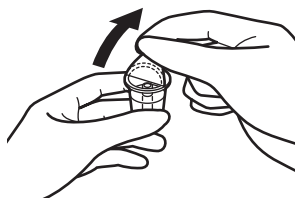
**？「ピピピッ」と音が鳴った場合は・・・**

センサーチップが正しく挿入されていません。  
液晶画面を確認して対処してください。

液晶画面	原因／対処方法
チップがキャクニ セットサレテマス!	センサーチップが表裏逆向きに挿入されています。 →センサーチップの全体が白い面を上にして、もう一度奥までしっかりと挿入してください。

### 5 ディスポーザブルカップをセットする

1. ディスポーザブルカップのアルミはくをはがす。



#### **!** 注意



アルミはくをはがす際に、ディスポーザブルカップ内の測定溶液をこぼさないように注意する

- 測定溶液がこぼれた場合、測定精度に影響し、正しい測定結果が得られない場合があります。

#### お願い

アルミはくは確実にはがしてください。

- アルミはくのはがし残しがあると、故障の原因になります。

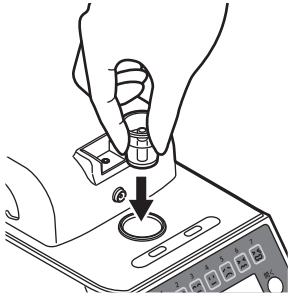
アルミはくは、各地方自治体や施設の廃棄区分に従って廃棄してください。

ディスポーザブルカップの縁に水滴が付着する場合がありますが、純水ですので健康上問題ありません。気になる場合は拭き取ってください。

#### お知らせ

測定溶液は皮膚などに付着しても健康上問題ありません。

## 2. 機器本体のディスポーザブルカップ取付部にセットする。



### お願い

ディスポーザブルカップが正しくセットされたこと（ガタつきなどが無いこと）を確認してください。

- ディスポーザブルカップ取付部の内側や底に異物やほこりなどがたまっている場合は、市販の綿棒などでやさしく取り除いてください。

### 注意

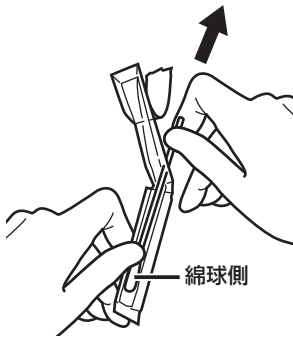


ディスポーザブルカップ内に異物が混入した場合は、新しいディスポーザブルカップと交換する

- 異物が混入していると、正しい測定結果が得られない場合があります。

## 6 口腔内の検体を採取する（採取例）

### 1. 滅菌綿棒を取り出す。



### 注意



袋に破れや穴などがあった場合には使用しない

- 綿球に異物が付着すると、正しい測定結果が得られない場合があります。



滅菌綿棒は、必ず口腔内細菌カウンタ専用の測定消耗品を使用する（P.11）

- 誤動作や故障により、正しく測定結果が得られない場合があります。



綿球に触らないよう、綿球の方向に注意して開ける

- 特に体液や菌などが付着すると、正しい測定結果が得られない場合があります。



滅菌綿棒は検体採取の直前に袋から取り出す

- 綿球に異物が付着すると、正しい測定結果が得られない場合があります。



滅菌綿棒の軸を曲げないように注意する

- 誤動作や故障の原因により、正しい測定結果が得られない場合があります。



落としたり汚れたりした滅菌綿棒は使用しない

- 誤動作や故障の原因により、正しい測定結果が得られない場合があります。




# 測定する (つづき)

## 6 口腔内の検体を採取する (採取例) (つづき)

### 2. 口腔内の検体を採取する。

口腔内の細菌数を測定するためには、「舌上から検体を採取する方法」と「舌下から唾液を採取する方法」の2通りの検体採取方法があります。

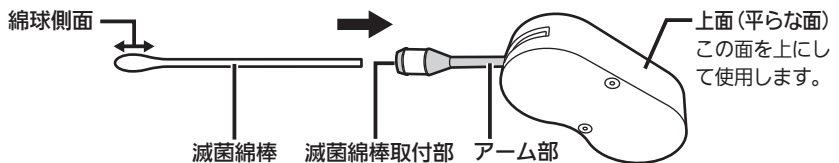
診療目的に応じて検体採取方法を選択し、採取条件を統一してください。

 <b>注意</b>	
 <b>検体の採取は正しく行う</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 測定方法を誤ると正しく測定結果が得られない場合があります。</li></ul>	 <b>検体を採取した滅菌綿棒は速やかにディスポーザブルカップにセットする</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 滅菌綿棒をしばらく放置すると検体が蒸発し正しく測定結果が得られない場合があります。</li></ul>

### 舌上から検体を採取する方法

#### 1. 滅菌綿棒を定圧検体採取器具に取り付ける。

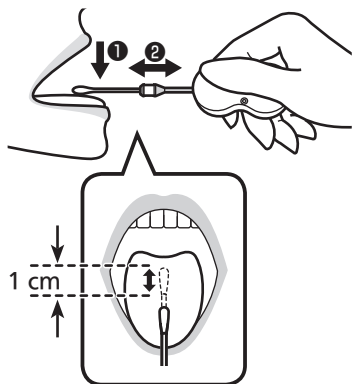
綿球とその周辺に触れないように滅菌綿棒の棒の方（綿球でない方）を滅菌綿棒取付部に挿入してください。



#### お願い

滅菌綿棒を折り曲げたり、無理な力をかけたりせずに、確実に奥まで挿入してください。

## 2. 検体を採取する。



### お知らせ

定圧検体採取器具のお手入れは  
P. 35 をご覧ください。

- ① 舌上の中央部に綿球の側面をおおむね水平になるように押し当てる
- ② 舌上の中央部に滅菌綿棒をつけた状態で、約 1 cm の長さを 3 往復擦過する

綿球の大きさを約 1 cm の目安としてください。

### お願い

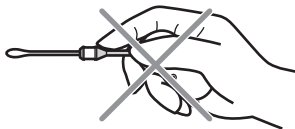
定圧検体採取器具の上面（平らな面）を上にして持ち、滅菌綿棒に荷重をかけた状態でこすってください。

検体採取時は定圧検体採取器具の稼動範囲を超えて使用しないでください。

- 正しい押し圧が得られない場合があります。

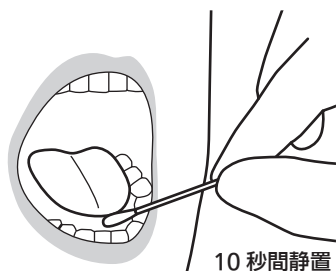
指がアーム部や滅菌綿棒取付部に当たらないようにしてください。

- 正しい押し圧が得られない場合があります。



- ③ 定圧検体採取器具から滅菌綿棒を取り外す

## 舌下から唾液を採取する方法



舌下部に滅菌綿棒を 10 秒間静置し、  
唾液を滅菌綿棒に吸収させる。

### お知らせ

滅菌綿棒を定圧検体採取器具に取り付ける必要はありません。

## 測定する (つづき)

### 7 滅菌綿棒をディスポーザブルカップにセットする

1. 検体を採取した滅菌綿棒を、綿球を下に向けてディスポーザブルカップ中央の筒内に挿入する。



#### 注意



**滅菌綿棒の綿球がディスポーザブルカップの底面に付く位置まで押し込む**

- 誤動作や故障により、正しい測定結果が得られない場合があります。



**曲がった滅菌綿棒はできるだけまっすぐにして挿入する**

- 誤動作や故障により、正しい測定結果が得られない場合があります。



**折れた滅菌綿棒は使用しない**

- 誤動作や故障により、正しい測定結果が得られない場合があります。



**滅菌綿棒の軸を折り曲げたり、切断したりせずに使用する**

- 誤動作や故障により、正しい測定結果が得られない場合があります。

## 8 測定を行う

### 1. 「カチッ」と音がするまで、ふたを手で閉める。



お願い

ふたを閉じた後は手を離してください。

- 測定終了時にふたが自動で開くので、誤動作や故障の原因になります。

最初に機器本体の状態を確認し、自動的に滅菌綿棒が固定されて測定モードになります。測定が開始されると「ピッ」と音が鳴ります。

### ⚠ 注意



測定を開始する前にセンサーチップ、ディスプレイカップ、滅菌綿棒がセットされていることを確認する

- セットされずに測定を開始すると消耗品が使えなくなる場合があります。

### ❓ 測定を開始しない場合は・・・

液晶画面を確認して対処してください。

液晶画面	原因／対処方法
チップがセットされません！	センサーチップが挿入されていないか、逆向きや裏向きに挿入されています。 →センサーチップの端がまっすぐなほうをセンサーチップ挿入口に向け、もう一度奥までしっかりと挿入してください。
ソクテイ ヨウエキがハイッとマゼン！	ディスプレイカップがセットされていないか、ディスプレイカップ内の測定溶液が不足しています。 →機器本体にセットしたディスプレイカップを確認し、測定溶液が不足している場合は新しいものに交換してください。

使いかた

# 測定する (つづき)

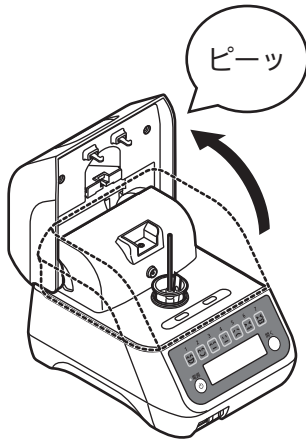
## 8 測定を行う (つづき)

測定完了まで約 1 分※かかります。

測定が終了すると「ピーッ」と音が鳴り、自動でふたが開きます。

ふたが開く際にセンサーチップがディスプレイカップ内に落ちます。

※ただし、測定環境条件などにより 1 分 30 秒程度かかる場合もあります。



### ⚠ 注意



測定中は、機器本体を移動させたり機器本体に触れたりしない

- 振動等の影響で、ディスプレイカップ内の測定溶液がこぼれ誤動作や故障により正しい測定結果が得られない場合があります。



機器本体のふたを開けるときは、顔を近づけない

- けがの原因になります。

### お知らせ

センサーチップ挿入口やディスプレイカップ付近に水滴が付着する場合がありますが、純水ですので健康上問題ありません。気になる場合は拭き取ってください。

### お願い

測定中はパソコンと接続している USB 接続ケーブルやテンキーを抜き差ししないでください。

### 「ピピピッ」と音が鳴った場合は・・・

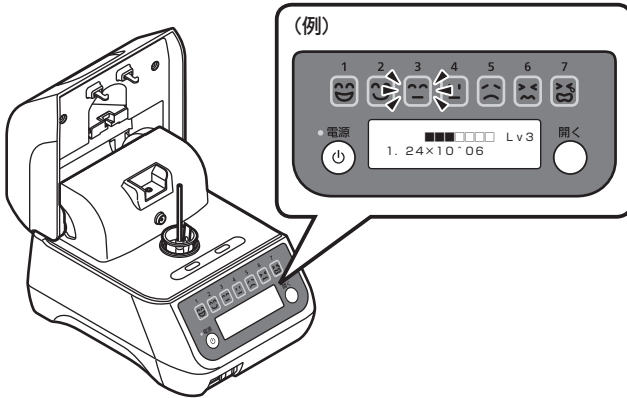
液晶画面を確認して対処してください。

液晶画面	原因／対処方法
チップ ヲ コウカンシテ ソクテイシテクタ サイ!	センサーチップに異常が発生しました。 →新しいセンサーチップに交換して再度測定してください。
ト ウデ ンリツ High EC=###. #### (#には数字が入ります。)	測定溶液の導電率が高すぎ、または低すぎます。(測定範囲を超えています) →新しい測定溶液に交換して再度測定してください。
ト ウデ ンリツ Low EC=#. ##### (#には数字が入ります。)	

# 測定結果を確認する

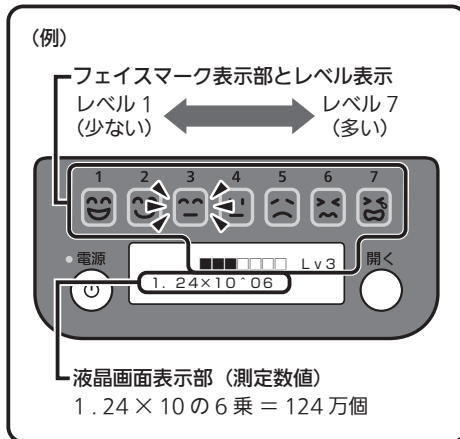
## 1 測定結果を表示する

測定が終わるとフェイスマーク表示部および液晶画面に測定結果が表示されます。



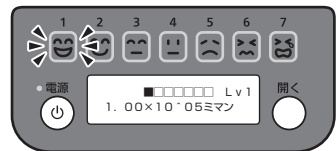
## 2 測定結果を確認する

1. フェイスマーク表示部(レベル1～7)と液晶画面表示部(測定数値)で測定結果を確認する。

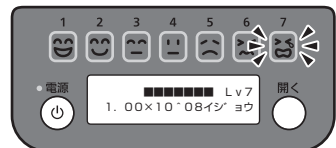


### お知らせ

細菌数下限時 (10万個未満)



細菌数上限時 (1億個以上)










使  
い  
か  
た

## 測定結果を確認する (つづき)

### 細菌数とレベルの定義について

レベル表示は、舌上から検体を採取した場合の目安です。

レベル	細菌数
1 	10 万個未満 ( $10^5$ 個未満)
2 	10 万個～ 100 万個 ( $10^5$ 個～ $10^6$ 個)
3 	100 万個～ 316 万個 ( $10^6$ 個～ $10^{6.5}$ 個)
4 	316 万個～ 1000 万個 ( $10^{6.5}$ 個～ $10^7$ 個)
5 	1000 万個～ 3160 万個 ( $10^7$ 個～ $10^{7.5}$ 個)
6 	3160 万個～ 1 億個 ( $10^{7.5}$ 個～ $10^8$ 個)
7 	1 億個以上 ( $10^8$ 個以上)

- 細菌濃度 [cfu/mL] に換算  
この取扱説明書ではこの換算値を「個」と表記します。
- 測定結果は、検体採取方法または使用条件や測定条件により異なります。

# 測定を終了する

## 1 ディスポーザブルカップを取り出す

1. センサーチップと滅菌綿棒が入ったディスポーザブルカップをゆっくり取り出す。



### お願い

ディスポーザブルカップ内の測定溶液をこぼさないように注意してください。

## 2 使用済み測定消耗品を廃棄する

測定後、使用済みセンサーチップ・ディスポーザブルカップ・ディスポーザブルカップ内の測定溶液・滅菌綿棒は、各地方自治体や施設の廃棄区分に従って処理してください。

### お知らせ

使用済みセンサーチップ・ディスポーザブルカップ・滅菌綿棒は再使用できません。

### ? 継続して測定する場合は・・・

ふたが開いているとき・・・ P. 17 「**4**センサーチップを挿入する」へ進みます。

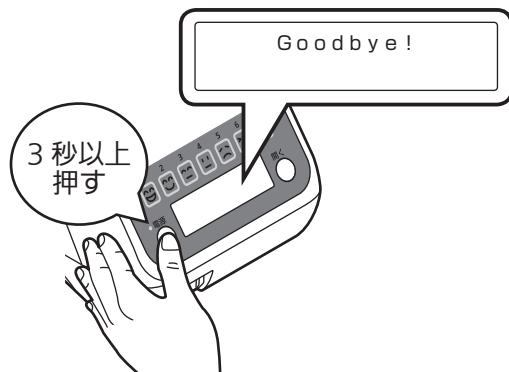
ふたが閉まっているとき・・・ P. 16 「**3**ふたを開ける」へ進みます。

# 測定を終了する (つづき)

## 3 電源を切る

1. すべての測定が終了したら、機器本体の「電源」ボタンを3秒以上押して電源を切る。

液晶画面に「Goodbye!」と表示されます。



2. ふたを手で閉める。

### ? 電源を切る前にふたを閉めた場合は・・・

液晶画面にエラーメッセージが表示されますが、そのまま「電源」ボタンを3秒以上押して電源を切ってください。

### お願い

続けて使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

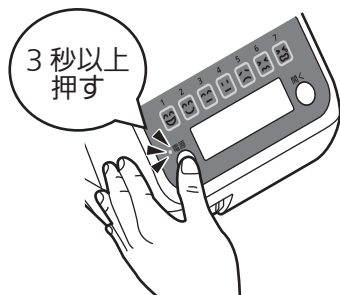
3. 片づける。

水またはアルコールをひたした柔らかい布をよく絞って水気や汚れを拭き取ってからお片づけください。

# 測定履歴を表示する

## 1 測定履歴を表示する

1. 電源が切れている状態で、機器本体の「電源」ボタンを3秒以上押す。  
電源が入り、最新の測定データが表示されます。



## 2 測定履歴を確認する

### ● 測定履歴例

(例)

履歴番号 0001 ~ 5000  
(古い) (新しい)

0123	09/24	13:45
1. $2.4 \times 10^6$		

測定日時

※測定結果の見かたについては、P. 25 をご覧ください。

### ● エラー履歴例

0124	09/24	14:45
ソクテイチュウ エラー U13		

エラーコード

※エラーコードについては、P. 38 をご覧ください。

### お知らせ

測定データは過去 5000 件までさかのぼって確認できます。(最大保存データ件数は 5000 件です。) 機器本体の「開く」ボタンを押すたびに、1 つ前の測定データを表示できます。

テンキー (市販品) を接続している場合は、テンキーの「2」キーで 1 つ前、テンキーの「8」キーで 1 つ後の測定データを表示できます。

テンキーの接続方法については P. 31 をご覧ください。

履歴には測定エラー情報も含まれます。

測定履歴では、ID・性別・年齢の入力データは表示されません。ユーティリティソフトで情報を表示することができます。(P. 3)

### ? 測定履歴を消去する場合は・・・

測定履歴表示中に機器本体の「開く」ボタンを 3 秒以上押すと、液晶画面に「カウンタリセット」が表示されます。続いて機器本体の「電源」ボタンを押すと、「ピーツ」と音が鳴り、すべての測定履歴が消去されて測定履歴の表示を終了します。

- 「電源」ボタンを長押しすると測定履歴が消去されず電源が切れてしまいます。もし電源が切れてしまった場合は、もう一度やり直してください。

## 測定履歴を表示する (つづき)

### 3 測定履歴の表示を終了する

1. 機器本体の「電源」ボタンを3秒以上押す。

電源が切れます。



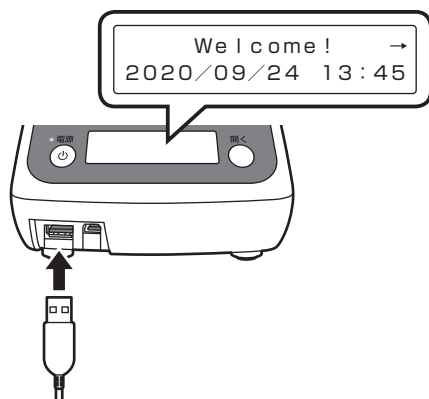
# ID・性別・年齢を入力する

ID・性別・年齢を入力するには、機器本体にテンキー（市販品）を接続する必要があります。

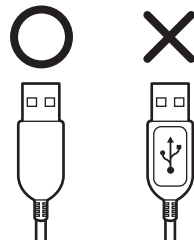
## 1 テンキーを接続する

### 1. 機器本体の電源が入っている状態で、テンキーのコネクターを機器本体のテンキー接続用 USB 端子に差し込む。

接続されると「Welcome!」の右に「→」が表示されます。



**お願い**  
コネクターは向きを確認して水平に差し込んでください。



※ USB マークが見えると逆向きです。

### テンキーの操作

キー	動作
0～9	数字の入力
/	カーソルを左に移動
*	カーソルを右に移動
. Del	数字の削除
Enter	決定
BS（「Back Space」「←」等） • 使用するテンキーにより表記内容が異なる場合があります。	ID・性別・年齢の入力を終了／入力の中止（前の画面に戻る）

#### お願い

NumLock が ON になっていることを確認してください。

使用できないテンキーが接続された場合には「→」ではなく、「U 10」が表示されます。

測定中にテンキーの抜き差しを行わないでください。

- 誤操作や故障の原因となります。

# ID・性別・年齢を入力する (つづき)

## 2 ID・性別・年齢を入力する

1. テンキーの「Enter」キーを押して、入力モードに切り替える。


[ニューリョク]	ネンレイ
▶ ID	セイベツ

**?** いずれかの項目が入力されている場合は・・・

入力した項目の確認画面が表示されます。  
もう一度「Enter」キーを押すと、入力モードに切り替わります。

ID: 123456789012
オトコ 65サイ

2. テンキーの「Enter」キーを押す。(下のように表示されます。)

ID ニュウリョク	
-----------	---

3. テンキーを使って ID を入力する。

12桁までの数字を入力することができます。

4. テンキーの「Enter」キーを押して、ID を確定する。

ID の確認画面が表示されます。

5. ステップ“1.”～“4.”を繰り返し、残りの項目(性別・年齢)を入力する。

[セイベツ ニュウリョク]	1: オトコ, 2: オンナの数字を入力できます。
	[. Del] キーを押すとキャンセルされます。
[ネンレイ ニュウリョク]	0～255までの数字を入力することができます。

## 6. もう一度「Enter」キーを押す。(「P. 31 **1** テンキーを接続する」の画面に戻ります。)

### お願い

ふたが閉まっていれば、ふたを開けて測定してください。  
測定終了後、測定結果が保存されます。

---

測定終了後は入力した ID・性別・年齢、の変更および確認はできません。  
ユーティリティソフトでパソコンにデータを取り込んで行ってください。(P. 3)

## 3 ID・性別・年齢の入力モードを終了する

### 1. テンキーの「BS」キーを押す。

- 使用するテンキーにより「Back Space」または「←」等、表記内容が異なる場合があります。

### お知らせ

「測定履歴を表示する」(P. 29) では、ID・性別・年齢の入力データは表示されません。  
ユーティリティソフトで情報を表示することができます。(P. 3)

# お手入れ

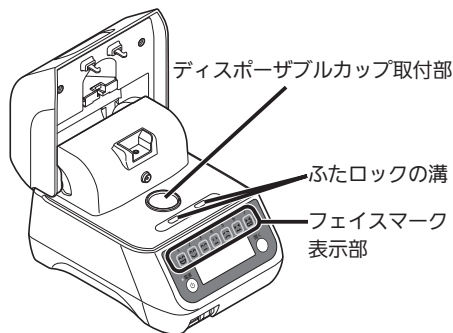
## 本体の清掃

(1日に1回)

お手入れの際は電源プラグを抜き、柔らかい布でふいてください。

ディスポーザブルカップ取付部の内側や底に異物やほこりなどがたまっている場合は、市販の綿棒などでやさしく取り除いてください。

- ふたロックの溝周辺に異物やほこりなどがたまっている場合は、市販の綿棒などでやさしく取り除いてください。竹串等で清掃すると機器が故障するおそれがあります。
- 汚れがひどいときは、水またはアルコールをひたした柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
- ベンジンやシンナー等の溶剤を使用すると、外装ケースが変質したり変色するおそれがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の場合は、その注意書きに従ってください。  
化学ぞうきんの種類によっては外装ケースが変質したり変色するおそれがあります。



## 点検・確認事項

(使用毎)

液晶画面の表示およびフェイスマーク表示部の点灯が正常であることを確認してください。

ふたの開閉が正常に行えることを確認してください。

測定動作が正常かつ安全に終了することを確認してください。

異常を確認した場合は使用を中止し販売店へご連絡ください。

- 思わぬ事故や故障の原因および正しい測定精度が得られないおそれがあります。

(1日に1回)

機器本体に破損、変形等の異常がないことを確認してください。

異常を確認した場合は販売店へご連絡ください。

- 思わぬ事故や故障の原因および正しい測定精度が得られないおそれがあります。

## 業者による保守・点検事項

(1年毎を推奨)

業者による外観、機能点検を行います。

(累積測定回数が10000回)

累積測定回数が9000回に達しましたら10000回に達するまでに販売店へご連絡ください。

業者による外観、機能点検およびセンサーチップ基板の交換を行います。

- 10000回を超えてもご使用は可能ですが、機器の異常により思わぬ事故や故障の原因および正しい測定精度が得られないおそれがあります。

## 設置・保管場所について

設置、保管場所にはお気をつけください。故障や劣化の原因になることがあります。

■機器本体、ACアダプター、電源コードおよび定圧検体採取器具

	周囲温度	相対湿度	気圧
使用条件	10℃～35℃	20%～80% (非結露)	800 hPa～1060 hPa
保管、輸送条件	-20℃～60℃	10%～85% (非結露)	700 hPa～1060 hPa

- 直射日光に長時間さらさないでください。
- 不安定な場所に設置しないでください。
- しばらく使用していなかった機器を使用するときは、使用前に機器が正常かつ安全に作動するか必ず確認してください。

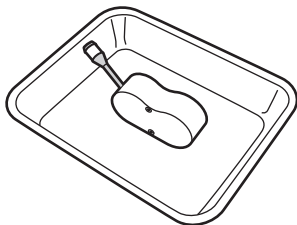
## ■センサーチップボトル、ディスポーザブルカップ、滅菌綿棒

	周囲温度	相対湿度	気圧
使用条件	10℃～35℃	20%～85%（非結露）	800 hPa～1060 hPa
保管条件	1℃～40℃	10%～85%（非結露）	700 hPa～1060 hPa
輸送条件	-20℃～60℃	10%～85%（非結露）	700 hPa～1060 hPa
使用期限	センサーチップボトルのラベル、ディスポーザブルカップ用の袋、および滅菌綿棒用の包装袋のラベルに記載		

- 直射日光に長時間さらさないでください。
- 水濡れに注意してください。
- 使用期限を守ってお使いください。

## 定圧検体採取器具の保守・点検

### 日常（毎日）の保守・点検

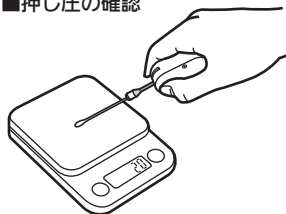


図のように、トレー（市販品）などに器具本体を置いてください。ご使用後は、連続使用による感染のリスクを下げるために、アルコールを含んだ布などでやさしく拭いてください。

- 定圧検体採取器具の清掃を毎日行ってください。
- 定圧検体採取器具に破損、変形等の異常が無いことを毎日確認してください。
- ご使用後はアルコールを含んだ布などで完全に拭きとってから、清潔な場所に保管してください。
- 器具が故障しますのでオートクレーブ処理はしないでください。

### 定期（月に1回）の保守・点検

#### ■押し圧の確認



滅菌綿棒を挿入した状態で、電子はかり（市販品）に押し当ててください。

図のように押し当てたとき、20 g ± 5 g の範囲内に入っていれば正常です。範囲に入っていない場合は、P. 36 をご覧ください。

- 電子はかりは押し圧を測る前に、必ず 0 g 表示になるように調整してください。
- 電子はかりは最小表示が 1 g 表示以下のものをお使いください。
- 押し圧の確認に使用した滅菌綿棒で検体を採取しないでください。
- 押し圧の確認は月に一回行ってください。

# 故障かな!?と思ったら

販売店に修理依頼する前に、以下の項目を確認してください。  
症状が改善しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。

Q (質問)	A (回答)
電源を入れることができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源プラグがコンセントに根元まで確実に差し込まれているか確認してください。</li> <li>AC アダプターが機器本体の DC 入力端子に確実に差し込まれているか確認してください。</li> <li>電源コードが AC アダプターに確実に差し込まれているか確認してください。</li> </ul>
電源が勝手に切れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源を入れた直後または測定終了後にエラーメッセージが表示されていない状態で、約 30 分間操作しないと自動で電源が切れます。</li> </ul>
電源を切ることができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>機器本体の「電源」ボタンを 3 秒以上押さないと電源を切ることができません。</li> <li>日付時刻設定モード中は機器本体の「電源」ボタンを 10 秒以上押さないと電源を切ることができません。</li> </ul>
ふたが開かない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源が入っているか確認してください。</li> </ul>
日付時刻設定モードに切り替わらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源が切れている状態で、機器本体の「電源」ボタンと「開く」ボタンを同時に 3 秒以上押さないと日付時刻設定モードにはなりません。測定結果表示中に、約 30 分間無操作により自動で電源が切れた場合は、元の測定結果表示に戻ります。電源を切り、再度機器本体の「電源」ボタンと「開く」ボタンを同時に 3 秒以上押してください。</li> </ul>
日付・時刻が正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期間保管されていた場合は、充電式電池が放電され日付・時刻が正しく表示されない場合があります。正しく表示されない場合は、日付・時刻を設定しなおしてください。日付・時刻の設定方法については P. 14 をご覧ください。</li> </ul>
履歴表示モードに切り替わらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源が切れている状態で、機器本体の「電源」ボタンを 3 秒以上押さないと履歴表示モードにはなりません。測定結果表示中に、約 30 分間無操作により自動で電源が切れた場合は、元の測定結果表示に戻ります。電源を切り、再度機器本体の「電源」ボタンを 3 秒以上押してください。</li> </ul>
テンキーを押しても入力できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>テンキーのコネクターが機器本体のテンキー接続用 USB 端子に確実に差し込まれているか確認してください。</li> <li>「U 10」が表示されている場合、使用できないテンキーが接続されています。(P. 38)</li> </ul>

## <定圧検体採取器具>

Q (質問)	A (回答)
P. 35「定圧検体採取器具の保守・点検」の方法で押し圧を測定してみたが、 $20\text{ g} \pm 5\text{ g}$ の範囲を超えている	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部の定圧ばねの寿命、もしくは故障が考えられます。販売店にご相談ください。</li> </ul>

# こんな表示が出たときは

液晶画面に表示されたエラーメッセージに応じて、その原因と対処方法をご確認ください。  
(エラーの内容によってはフェイスマーク表示部が点滅する場合があります。)

エラーメッセージ	原因／対処方法
チップ ガ セットサレテイマセン!	センサーチップ挿入口にセンサーチップが挿入されていないか、上下逆向きに挿入されています。 →センサーチップの端がまっすぐなほうをセンサーチップ挿入口に向け、もう一度奥までしっかりと挿入してください。
チップ ガ キ ャクニ セットサレテイマス!	センサーチップが表裏逆向きに挿入されています。 →センサーチップの全体が白い面を上にして、もう一度奥までしっかりと挿入してください。
ソクテイ ヨウエキガ ハイッテイマセン!	以下の場合が考えられます。 ①ディスポーザブルカップがセットされていない。 ②ディスポーザブルカップの測定溶液が不足している。 ③使用済みのセンサーチップを使用している。 →順番に確認を行い、それぞれ以下の対応を行ってください。 ①ディスポーザブルカップをセットしてください。 ②新しいディスポーザブルカップと交換してください。 ③新しいセンサーチップと交換してください。
フタ シメテクダサイ!	何らかの原因で測定中にふたが開きました。 →新しいセンサーチップに交換して再度測定してください。
ソクテイデ ータガ アリマセン!	測定データがないか、測定履歴が消去されています。 →測定後に再度操作してください。
チップ ヲ コウカンシテ ソクテイシテクダサイ!	センサーチップに異常が発生しました。 →新しいセンサーチップに交換して再度測定してください。
チップ フリョウ コウカン	センサーチップまたは機器本体に異常が発生しました。 →新しいセンサーチップに交換して再度測定してください。 同じ異常が発生する場合は販売店へご連絡ください。
サイキンスウロ ソクテイデ キマセン	センサーチップまたは機器本体に異常が発生しました。 →新しいセンサーチップに交換して再度測定してください。 同じ異常が発生する場合は販売店へご連絡ください。
ド ウデ ンリツ High EC=###. #### (#には数字が入ります。)	測定溶液の導電率が高すぎ、または低すぎます。(測定範囲を超えています。) →新しい測定溶液に交換して再度測定してください。
ド ウデ ンリツ Low EC=#. ##### (#には数字が入ります。)	
ソクテイ エラー	機器本体に異常が発生しました。 →販売店へご連絡ください。

# こんな表示が出たときは (つづき)

エラーメッセージ	原因／対処方法
F10 Welcome! C:#### A:#### (#には数字が入ります。) (C:は測定履歴の数、A:は累積測定回数です。)	累積測定回数が9000回に達しました。 →メンテナンスを行う必要があるため、10000回に達するまでに販売店へご連絡ください。
F## ハート エラーデ ス (#には数字が入ります。)	機器本体に異常が発生しました。 (モーター回転不良、メモリー不良など) →販売店へご連絡ください。
リセットサレマシタ!	予期せぬエラーが発生しました。 →再度操作を行ってください。それでも直らない場合は販売店へご連絡ください。
Welcome! U10 ####/#/#/# #:#:# (#には数字が入ります。)	使用できないテンキーが接続されています。 →動作確認品のテンキーを接続してください。(P. 11)
PCセツゾ ク チュウ	パソコンと接続中です。 →口腔内細菌カウンタ本体とパソコンを接続している間は、口腔内細菌カウンタ本体での測定はできなくなります。測定するにはパソコンとの接続を外してください。

## 履歴表示時 (P. 29) のエラーコードについて

エラーコード	エラー内容
U 13	測定溶液の導電率が高すぎた。
U 14	測定溶液の導電率が低すぎた。
U 15	センサーチップに異常が発生した。
U 16	センサーチップまたは機器本体に異常が発生した。
U 18	カップを挿入していなかった。 カップの中に水が入っていなかった。
F 11	機器本体に異常が発生した。(モーター回転不良)
F 12	機器本体に異常が発生した。(アナログ電源不良)
F 14	測定途中でふたが開いた。
F 20	機器本体に異常が発生した。(測定エラー)
F 21	細菌数を測定できない異常が発生した。

# 仕様

## 全般

使用条件	周囲温度：10℃～35℃ 相対湿度：20%～80%（非結露） 気圧：800 hPa～1060 hPa
保管・輸送条件	周囲温度：-20℃～60℃ 相対湿度：10%～85%（非結露） 気圧：700 hPa～1060 hPa
測定方式	誘電泳動インピーダンス測定 DEPIM方式 Dielectrophoretic Impedance Measurement
測定範囲	$1 \times 10^5$ cfu/mL～ $1 \times 10^8$ cfu/mL
測定精度	$1 \times 10^5 \sim 1 \times 10^6$ 未満 $\pm 10^{0.5}$ cfu/mL、 $1 \times 10^6 \sim 1 \times 10^8 \pm 10^{0.25}$ cfu/mL
測定可能導電率	5 $\mu$ S/cm～400 $\mu$ S/cm
測定時間	約1分（懸濁時間含む） ※ただし、測定環境条件などにより1分30秒程度かかる場合もあります。
最大測定結果データ蓄積数	5000件

## 機器本体

本体寸法	幅：144 mm×高さ：147 mm×奥行き：189 mm
質量	約1.3 kg
電源電圧	直流 12 V
定格消費電力	12 W

## ACアダプター／電源コード

電源電圧	交流 100 V
電源周波数	50-60 Hz
入力電流	1 A
出力電圧	直流 12 V
出力電流	3 A
電撃に対する保護	クラス II 機器（ACアダプター）
寸法	幅：50 mm×高さ：33 mm×奥行き：99 mm（コードを除く）
質量	約0.3 kg（ACアダプターおよび電源コード一式）
DCコード	長さ：1.5 m
電源コード	長さ：1.8 m

ACアダプターを電源に接続した状態にしておくと、最大約0.3 Wの電力を消費しています。

## 定圧検体採取器具

寸法（突起部を含む）	幅：88 mm×高さ：50 mm×奥行き：20 mm
押し圧	20 g $\pm$ 5 g（滅菌綿棒を取り付けて、綿球の側面に押し当てたときの荷重）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

# 保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・使いかた・お手入れなどは…

▼ お買い上げの際に記入されると便利です

## ■ まず、販売店へご相談ください。

販売店名

電話 ( ) -

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは…

「故障かな!?’と思ったら」「こんな表示が出たときは」(P. 36～P. 38)でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

● 製品名	口腔内細菌カウンタ
● 品番	NP-BCM01-A
● 故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従って修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご依頼ください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

(ただし、累積測定回数が 10000 回を超えて使用し、定期交換部品(品名：チップ基板)の交換を行う場合は、保証対象外とします。)

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

※ 補修用性能部品の保有期間 **6 年**

**技術料** 診断・修理・調整・点検などの費用

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

**部品代** 部品および補助材料代

## ■ お問い合わせは、お買い求め先へご連絡ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくためのために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

## ■ 本機や測定消耗品の廃棄方法について

医療機器の廃棄物は、産業廃棄物および特別管理産業廃棄物の資格を有する処理業者に依頼してください。

# EMC（電磁両立性）について

NP-BCM01-A は、JIS C 61326-1:2022 および JIS C 61326-2-6:2023 に規定される EMC（電磁両立性）要求事項に適合しています。

- 在宅医療環境および専門の医療施設環境のいずれにおいても使用されることを意図して設計されています。ただし、使用環境や動作条件によっては、周囲の電磁環境の影響を受けることがあります。
- 機器の動作に先立って、使用環境における電磁環境の評価を行うことが望まれます。
- 乾燥した環境、特に合成繊維の衣服やカーペットなどが存在する場合、有害な静電気放電により、誤った測定結果を引き起こすおそれがあります。
- 強力で、かつ、遮蔽されていない意図的な電磁放射源の近くで使用しないでください。適正な動作が妨げられることがあります。
- 電磁干渉を受けていると思われる場合は、機器と干渉源との距離を広げることで、正しい動作に回復することがあります。
- 電磁妨害の影響により、一時的な測定処理の遅延や中断、画面表示の乱れ、または機器の停止が生じる可能性があります。
- これらの影響は一時的なものであり、電磁妨害が除去された後、自動的に復帰する場合がありますが、一部の条件では操作者の介入により復帰します。
- 当該影響が生じた場合には、機器の状態を確認し、必要に応じて機器を再起動した上で、測定を再実行してください。

また、下記試験項目および試験レベルを規定します。

## 1. エミッション試験

製造業者による宣言	
試験内容 基本規格	適合性
RF エミッション CISPR 11	グループ 1、クラス B
高調波エミッション JIS C 61000-3-2	クラス A

# EMC（電磁両立性）について（つづき）

## 2. イミュニティ試験：基本的電磁環境での使用を意図した装置

製造業者による宣言			
ポート	現象 基本規格	試験レベル	適合性レベル
筐体	静電気放電（ESD） JIS C 61000 - 4 - 2	± 4 kV 接触放電 ± 8 kV 気中放電	± 4 kV ± 8 kV (B)
	放射無線周波電磁界 JIS C 61000 - 4 - 3	3 V/m (80 MHz ~ 1 GHz、1.4 GHz ~ 6 GHz)	3 V/m
	電源周波数磁界 JIS C 61000 - 4 - 8	3 A/m (50 Hz、60 Hz)	3 A/m
交流電源	パースト JIS C 61000 - 4 - 4	± 1 kV (5 kHz 又は 100 kHz)	± 1 kV (B)
	サージ JIS C 61000 - 4 - 5	± 0.5 kV 線間 ± 1 kV 線と接地との間	± 0.5 kV ± 1 kV (B)
	無線周波伝導妨害 JIS C 61000 - 4 - 6	3 V (150 kHz ~ 80 MHz)	3 V
	電圧ディップ JIS C 61000 - 4 - 11	半サイクルの間 0 % 1 サイクルの間 0 % 25 / 30 サイクルの間 70 % (A)	0 % (B) 0 % (B) 70 % (C)
	短時間停電 JIS C 61000 - 4 - 11	250 / 300 サイクルの間 0 % (A)	0 % (C)
直流電源 (D)	パースト JIS C 61000 - 4 - 4	± 1 kV (5 kHz 又は 100 kHz)	—
	サージ JIS C 61000 - 4 - 5	± 0.5 kV 線間 ± 1 kV 線と接地との間	—
	無線周波伝導妨害 JIS C 61000 - 4 - 6	3 V (150 kHz ~ 80 MHz)	—
入出力信号 ／制御	パースト (D) JIS C 61000 - 4 - 4	± 0.5 kV (5 kHz 又は 100 kHz)	—
	サージ (E) JIS C 61000 - 4 - 5	± 1 kV 線と接地との間	—
	無線周波伝導妨害 (D) JIS C 61000 - 4 - 6	3 V (150 kHz ~ 80 MHz)	—
主電源に直 接接続する 入出力信号 ／制御	パースト (D) JIS C 61000 - 4 - 4	± 1 kV (5 kHz 又は 100 kHz)	—
	サージ (E) JIS C 61000 - 4 - 5	± 0.5 kV 線間 ± 1 kV 線と接地との間	—
	無線周波伝導妨害 (D) JIS C 61000 - 4 - 6	3 V (150 kHz ~ 80 MHz)	—
備考			
(A) 例えば、25 / 30 サイクルの表記は、50 Hz の場合 25 サイクルを、60 Hz の場合 30 サイクルを意味する。			
(B) 一時的な測定処理の遅延や中断、画面表示の乱れ、または機器の停止が生じる可能性があるが、自己復帰する。			
(C) 一時的な測定処理の遅延や中断、画面表示の乱れ、または機器の停止が生じる可能性があり、操作者の介入を必要とする場合がある。			
(D) 3 m を超える線の場合に適用されるため、本機器は対象外。			
(E) 長距離線の場合に適用されるため、本機器は対象外。			

### 3. イミュニティ試験：専門の医療施設環境で使用することを意図した体外診断用医療機器

製造業者による宣言			
ポート	現象 基本規格	試験レベル	適合性レベル
外装	静電気放電 (ESD) JIS C 61000 - 4 - 2	± 4 kV 接触放電 ± 2 kV、± 4 kV 及び ± 8 kV 気中放電	± 4 kV ± 2 kV、 ± 4 kV 及び ± 8 kV (B)
	放射無線周波電磁界 JIS C 61000 - 4 - 3	3 V/m (80 MHz ~ 6 GHz)	3 V/m
	電源周波数磁界 JIS C 61000 - 4 - 8	3 A/m (50 Hz、60 Hz)	3 A/m
交流電源	バースト JIS C 61000 - 4 - 4	± 1 kV (5 kHz 又は 100 kHz)	± 1 kV (B)
	サージ JIS C 61000 - 4 - 5	± 0.5 kV 線間 ± 1 kV 線と接地との間	± 0.5 kV ± 1 kV (B)
	無線周波伝導妨害 JIS C 61000 - 4 - 6	3 V (150 kHz ~ 80 MHz)	3 V
	電圧ディップ JIS C 61000 - 4 - 11	半サイクルの間 0 % 1 サイクルの間 0 % 25 / 30 サイクルの間 70 % (A)	0 % (B) 0 % (B) 70 % (C)
	短時間停電 JIS C 61000 - 4 - 11	250 / 300 サイクルの間 0 % (A)	0 % (C)
直流電源 (D)	バースト JIS C 61000 - 4 - 4	± 1 kV (5 kHz 又は 100 kHz)	—
	サージ JIS C 61000 - 4 - 5	± 0.5 kV 線間 ± 1 kV 線と接地との間	—
	無線周波伝導妨害 JIS C 61000 - 4 - 6	3 V (150 kHz ~ 80 MHz)	—
入出力信号 ／制御	バースト (D) JIS C 61000 - 4 - 4	± 0.5 kV (5 kHz 又は 100 kHz)	—
	サージ (E) JIS C 61000 - 4 - 5	± 1 kV 線と接地との間	—
	無線周波伝導妨害 (D) JIS C 61000 - 4 - 6	3 V (150 kHz ~ 80 MHz)	—
主電源に直 接接続する 入出力信号 ／制御	バースト (D) JIS C 61000 - 4 - 4	± 1 kV (5 kHz 又は 100 kHz)	—
	サージ (E) JIS C 61000 - 4 - 5	± 0.5 kV 線間 ± 1 kV 線と接地との間	—
	無線周波伝導妨害 (D) JIS C 61000 - 4 - 6	3 V (150 kHz ~ 80 MHz)	—
備考			
(A) 例えば、25/30サイクルの表記は、50 Hzの場合25サイクルを、60 Hzの場合30サイクルを意味する。			
(B) 一時的な測定処理の遅延や中断、画面表示の乱れ、または機器の停止が生じる可能性があるが、自己復帰する。			
(C) 一時的な測定処理の遅延や中断、画面表示の乱れ、または機器の停止が生じる可能性があり、操作者の介入を必要とする場合がある。			
(D) 3 m を超える線の場合に適用されるため、対象外。			
(E) 長距離線の場合に適用されるため、対象外。			

# EMC（電磁両立性）について（つづき）











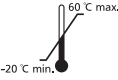
## 4. イミュニティ試験：在宅医療環境で使用することを意図した体外診断用医療機器

製造業者による宣言			
ポート	現象 基本規格	試験レベル	適合性レベル
外装	静電気放電（ESD） JIS C 61000-4-2	± 6 kV 接触放電 ± 2 kV、± 4 kV 及び ± 8 kV 気中放電	± 6 kV ± 2 kV、 ± 4 kV 及び ± 8 kV (B)
		± 8 kV 接触放電 ± 15 kV 気中放電	± 8 kV ± 15 kV (C)
	放射無線周波電磁界 JIS C 61000-4-3	10 V/m (80 MHz～1 GHz) 3 V/m (1 GHz～6 GHz)	10 V/m 3 V/m
	放射無線周波電磁界 JIS C 61000-4-3 (A)	9 V/m (710 MHz、745 MHz 及び 780 MHz) 28 V/m (1720 MHz、1845 MHz 及び 1970 MHz) 28 V/m (2450 MHz) 9 V/m (5240 MHz、5500 MHz 及び 5785 MHz) パルス変調 217 Hz。搬送波は、デューティ比 50 % の方形波で変調する。	9 V/m 28 V/m 28 V/m 9 V/m (B)
		27 V/m (385 MHz) 28 V/m (810 MHz、870 MHz 及び 930 MHz) パルス変調 18 Hz。搬送波は、デューティ比 50 % の方形波で変調する。	27 V/m 28 V/m (B)
電源周波数磁界 JIS C 61000-4-8	28 V/m (430 MHz～470 MHz) 周波数変調 (D) ± 5 kHz 偏移、1 kHz 正弦波	28 V/m (B)	
交流電源	電圧ディップ JIS C 61000-4-11	半サイクルの間 0 % 1 サイクルの間 0 % 25 / 30 サイクルの間 70 % (E)	0 % (B) 0 % (B) 70 % (C)
	短時間停電 JIS C 61000-4-11	250 / 300 サイクルの間 0 % (E)	0 % (C)
	バースト JIS C 61000-4-4	± 2 kV (5 kHz 又は 100 kHz)	± 2 kV (B)
	サージ (G) JIS C 61000-4-5	± 0.5 kV 及び ± 1 kV 線間 ± 0.5 kV、± 1 kV 及び ± 2 kV 線と接地との間	—
	無線周波伝導妨害 JIS C 61000-4-6	3 V (150 kHz～80 MHz) 6 V (150 kHz～80 MHz の周波数範囲の ISM 及 びアマチュア無線帯域) (F) 80 % 振幅変調 (1 kHz)	3 V 6 V

製造業者による宣言			
ポート	現象 基本規格	試験レベル	適合性レベル
直流電源 及び／又は 入出力 信号・制御 (H)	バースト JIS C 61000-4-4	± 2 kV (5 kHz 又は 100 kHz)	—
	サージ (G) JIS C 61000-4-5	± 0.5 kV 及び ± 1 kV 線間 ± 0.5 kV、± 1 kV 及び ± 2 kV 線と接地との間	—
	無線周波伝導妨害 JIS C 61000-4-6	3 V (150 kHz ~ 80 MHz) 6 V (150 kHz ~ 80 MHz の周波数範囲の ISM 及び アマチュア無線帯域) (F) 80 % 振幅変調 (1 kHz)	—
備考			
(A) 送信アンテナと機器との距離を 1 m に短縮してもよい。JIS C 61000-4-3 によって、1 m の試験距離としてもよい。			
(B) 一時的な測定処理の遅延や中断、画面表示の乱れ、または機器の停止が生じる可能性があるが、自己復帰する。			
(C) 一時的な測定処理の遅延や中断、画面表示の乱れ、または機器の停止が生じる可能性があり、操作者の介入を必要とする場合がある。			
(D) 周波数変調の代替として、18 Hz での 50 % のパルス変調を使ってもよい。			
(E) 例えば、25/30 サイクルの表記は、50 Hz の場合 25 サイクルを、60 Hz の場合 30 サイクルを意味する。			
(F) 0.15 MHz ~ 80 MHz の ISM (工業、科学及び医療) 帯域は、6.765 MHz ~ 6.795 MHz、13.553 MHz ~ 13.567 MHz、26.957 MHz ~ 27.283 MHz 及び 40.66 MHz ~ 40.70 MHz である。0.15 MHz ~ 80 MHz のアマチュア無線帯域は、1.8 MHz ~ 2.0 MHz、3.5 MHz ~ 4.0 MHz、5.3 MHz ~ 5.4 MHz、7 MHz ~ 7.3 MHz、10.1 MHz ~ 10.15 MHz、14 MHz ~ 14.2 MHz、18.07 MHz ~ 18.17 MHz、21.0 MHz ~ 21.4 MHz、24.89 MHz ~ 24.99 MHz、28.0 MHz ~ 29.7 MHz 及び 50.0 MHz ~ 54.0 MHz である。			
(G) 長距離線の場合に適用されるため、対象外。			
(H) 3 m を超える線の場合に適用されるため、対象外。			

# 製品表示記号

本機および AC アダプター並びに包装材に表示された記号とその意味について説明しています。

 <p>取扱注意</p>	 <p>欧州連合安全性能基準の 適合マーク</p>
 <p>積段数制限</p>	 <p>RoHS 欧州連合電気・電子機器廃棄の 指令適合マーク</p>
 <p>横積禁止</p>	 <p>FCC 米国連邦通信委員会 放送通信事業の適合マーク</p>
 <p>壊れもの、取り扱い注意</p>	 <p>UL<sup>®</sup> US E225703 UL カナダ・アメリカ向け 認証マーク</p>
 <p>水ぬれ防止</p>	 <p>TUV<sup>Rheinland</sup> CERTIFIED テュフラインランド認証マーク</p>
 <p>段ボール製容器包装マーク</p>	 <p>PSE 電気用品安全法適合マーク</p>
 <p>プラスチック製容器包装 マーク</p>	 <p>日本電子機械工業会 極性統一プラグ極性記号</p>
 <p>紙製容器包装マーク</p>	 <p>クラス II 機器のマーク</p>
 <p>リサイクルマーク</p>	 <p>60 °C max. -20 °C min. 温度制限を示すマーク</p>
 <p>緑のマーク (回収・リサイクルシステム)</p>	

# MEMO

■ お問い合わせは、お買い求め先へご連絡ください。

**パナソニック株式会社**

〒525-0058 滋賀県草津市野路東3丁目4番74号

© Panasonic Corporation 2021

P9901-13L50

F0121-5046